

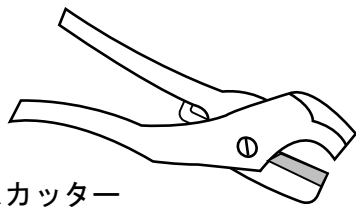
ホース用継手

カンタッチ装着手順マニュアル

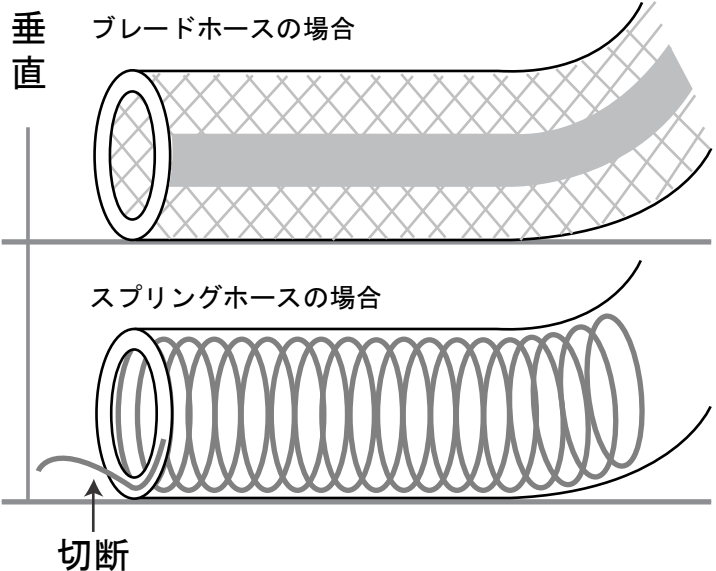
【適用】
 ブレードホース・スプリングホース
 (シールテープ・シーロック加工)

【ホースの切断】

●ホースカッターを使用し、ホースを軸方向と垂直に切断して下さい。



推奨ホースカッター
 (カッターFL38, SX5, SX10等)



△余分なスプリングは、ホース断面の根本からニッパー等で切断して下さい。指先を傷つけないよう、ご注意ください。

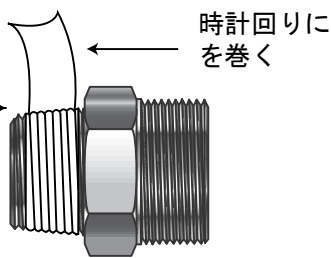
【ホース取付け・機器への組み込み】

① ボディのRネジ部には、前もってシールテープを巻く等の処理を行います。

シールテープ処理

Rネジ部側のみシールテープを巻く

1山ほど残しておく
 (テープ切端の
 流路への流れ込み
 を防ぐため)

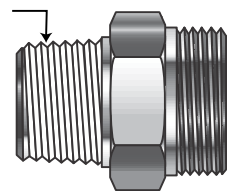


シーロック加工処理 (フッ素樹脂コーティング)

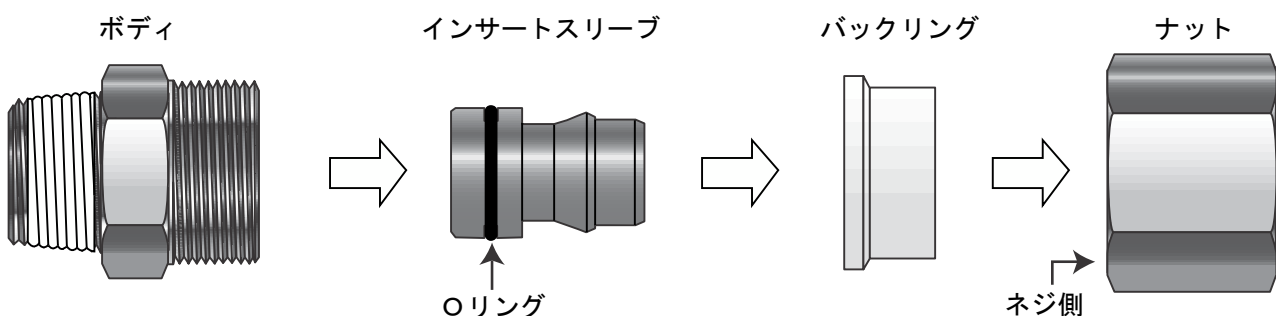
ネジ自体にシール機能を持たせている

シーロック加工

*通常2~3回の使用が可能
 *シールテープ、シール剤との併用も可能

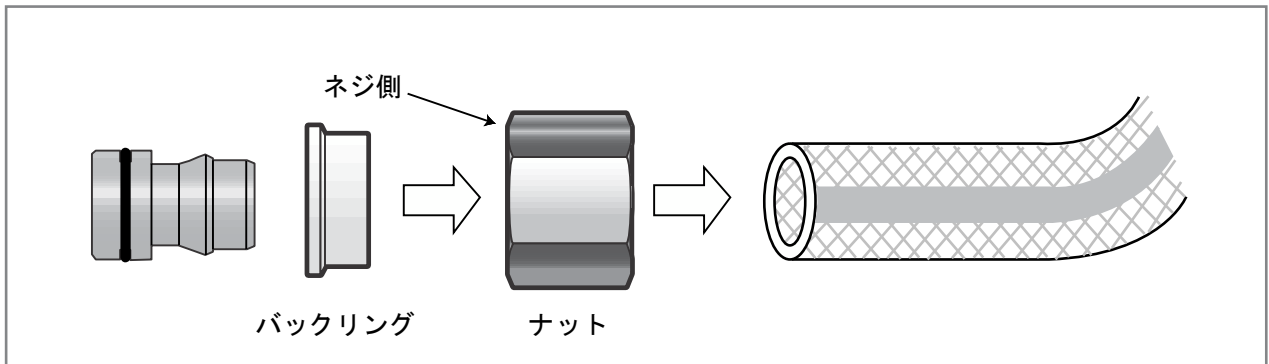


② 組み立てられているカンタッチを分解します。



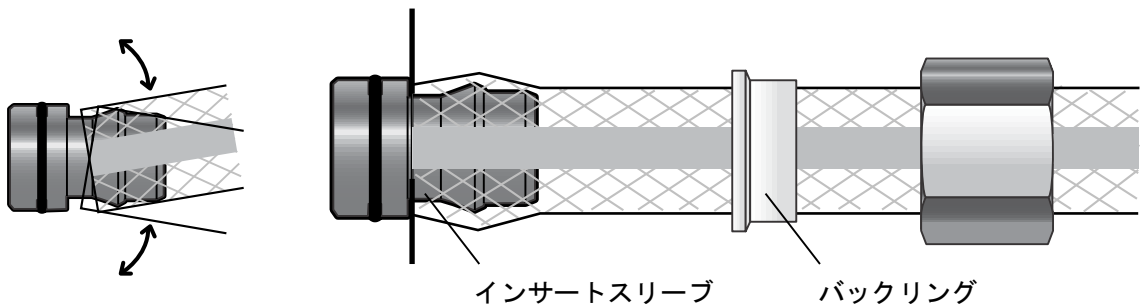
△ボディからインサートスリーブを取り外しの際、ボディネジ部で指先を傷つけないようご注意ください。

③ 使用するホースにナット、バックリングの順に挿入します。



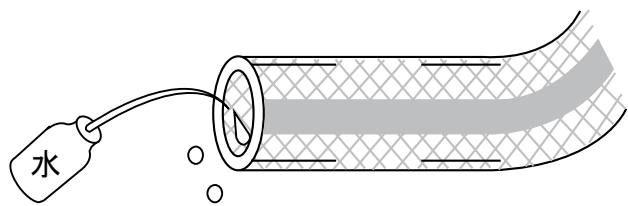
④ ホースをインサートスリーブに差し込みます。

- バックリングは、ホース端部から逃がして下さい。
 (ホースをインサートスリーブに挿入し易くする為)
- ホースをインサートスリーブに差し込むときは、ホース端面を斜めにあてがい
 インサートスリーブの外径の部分にかぶせるように左右に振りながら、押し込んで
 下さい。



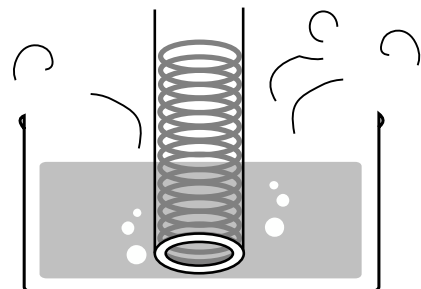
Point — ブレードホース
 ホース内面に水を塗付して
 すべり易くすることが
 ポイントです。

⚠ グリス等の油塗付は厳禁



Point — スプリングホース
 ホースの先端を60℃位の湯に
 浸すと柔軟性がついて差し込
 み易くなります。

⚠ ホースが熱くなるので火傷に
 ご注意ください。



⑤ ナットとバックリングを重ね合せ、全体を握りインサートスリーブの方に引き上げます。

●滑りが悪い場合はバックリング手前側のホースに水を塗付してください。

⚠️ グリス等の油塗付は厳禁

インサートスリーブに重なるまで引き上げる

しっかり掴んで引き上げる!

水

⑥ ボディを装置本体にネジ込むか、バイス等に固定しホースを差し込みます。

●インサートスリーブ端面がボディ内部に当たるまで差し込んで下さい。
 その際、ナットはホース端部から離して行って下さい。

Point — Oリング周辺に少量の水を付けると差し込み易くなります。

⚠️ グリス等の油塗付は厳禁

バイス
または
装置

バックリング

ナット

⚠️ 作業中、Oリングを傷つけないようご注意ください。水漏れの原因となります。

⑦ ナットをボディに締め込みます。

●ナットをボディへ手締めし、動かなくなったらスパナを使用してボディの六角端面とナットの端面が接する（面タッチ）まで締めます。

●ホースが共回りする場合は、5ページの手順で作業して下さい。

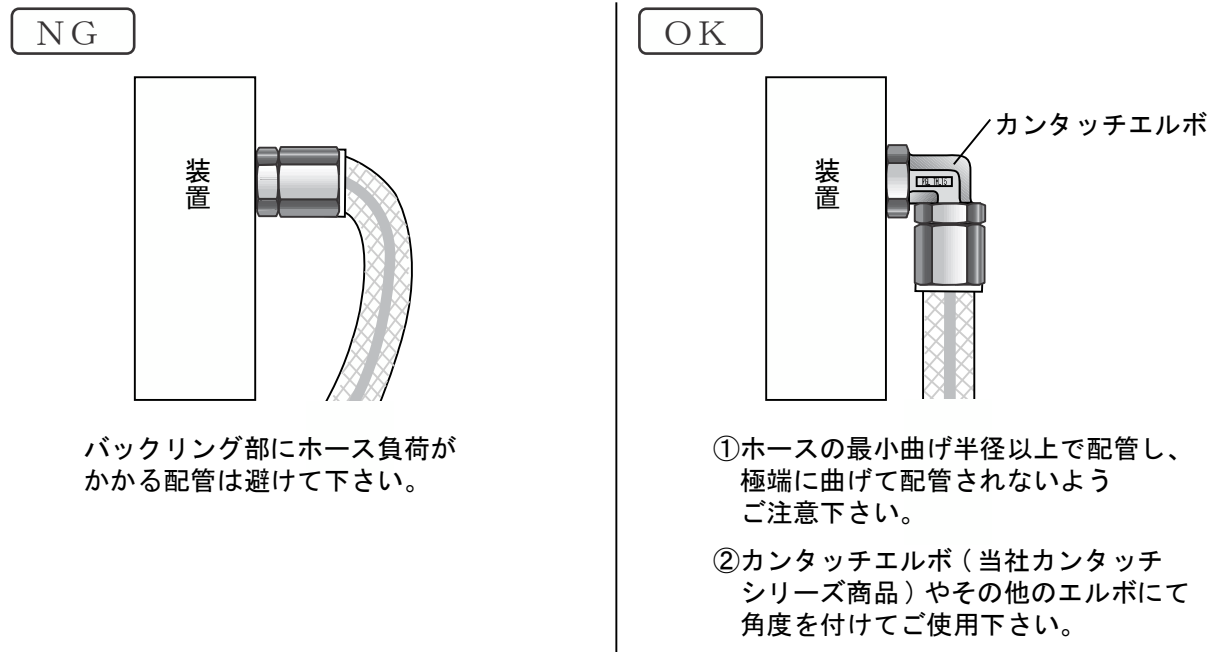
バイス
または
装置

面タッチ

対策手順（5ページを参照下さい）

【カンタッチ取り扱い注意事項】

- ホースは周囲温度、流体温度により大きく影響を受けます。
温度、流体に応じたホースをご使用ください。
- カンタッチ継手に直接負荷がかかる場合や、ホースの自重が継手だけで支える様な配管は避けて下さい。ホースの最小曲げ半径以下に曲げてのご使用は、ホースの性能を低下させ、耐用期間が短くなり、漏れ等の原因となる可能性があります。
- カンタッチにホースを配管される場合、次の事にご注意ください。
 1. ホースは内圧により収縮しますので、余裕を持たせて配管ください。
 2. ホースを取付ける際は、カンタッチ部で極端に曲げて配管されないよう注意してご使用ください。早期破損の原因となります。



3. ホースに衝撃を与えたり、重量物の下敷きにならないように注意して配管ください。
金属、コンクリート等の固い物の角が当る箇所及び、振動、屈曲等で他の物体と擦れる部分には衝撃材、保護具、スプリング等で保護し、ご使用ください。

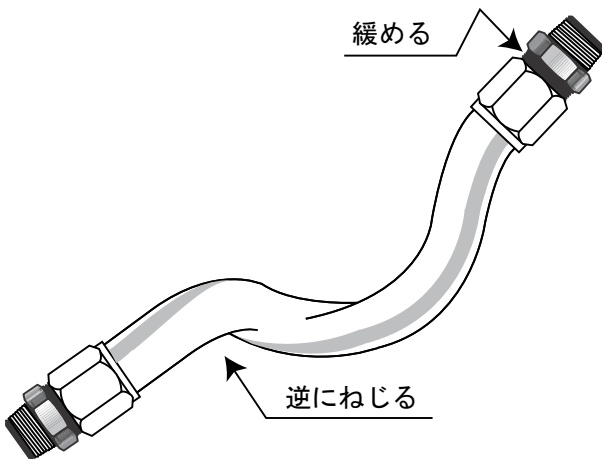
- 振動や衝撃の加わる機器に使用される場合は、最高使用圧力上限でのご使用は避けて定期的にメンテナンスをしてホースを交換して下さい。

●ホースをご使用前には、必ずねじれや折れた箇所がないかご確認ください。

ホースのねじれ対策

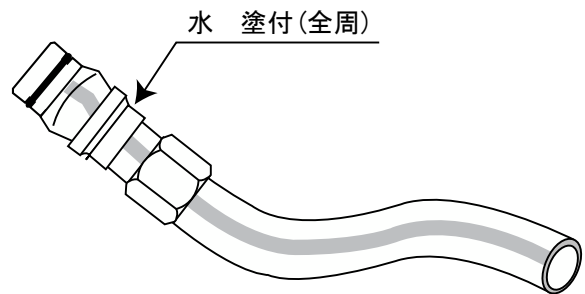
方法1

ホースがねじれても差し支えない場合はそのままスパナで締めていく。
ナットがボディ六角部に接したらナットを緩め、ねじれを直し、逆にねじっておいて再びナットを締める方法。



方法2

ナットをバックリングから離しておいて、バックリングのテーパ部に少量の水を塗付しナット締めを行う方法。



ねじれ現象が起きた場合は、下記の作業方法をお願いします。

1. カンタッチ装着手順マニュアルの①～⑦の作業後、ナットを緩めてください。
(両端の継手)
2. 装置への取付け
 - 1) 片側の取付けはマニュアル通り行います。
 - 2) もう一方のカンタッチを取付ける際に、ねじれ分を見込んで締め込み方向と反対へホースをねじります。(1～2回位)
 - 3) ホースをしっかりと固定し、ナットを締め込みます。

*いずれの場合でも、ホースがねじれないように、しっかり手で回り止めを行ってください！